

氏名	金 仙玉
よみ	きむ そんおく
英字	Kim, Sunok
オフィスアワー	水曜日 5 限 研究室3 s-kim@mizuho-c.ac.jp
プロフィール	韓国生まれの韓国育ち。愛知県立大学大学院人間発達学研究科博士前期・博士後期課程を修了する。その後、社会福祉・保育者養成大学の非常勤講師を経て、現在に至る。
職位	現代幼児教育学科 准教授
最終学歴	愛知県立大学大学院人間発達学研究科人間発達学専攻 博士後期課程修了
学位	博士（人間発達学）
所属学会・役職	日本保育学会 日本保育者養成教育学会 韓国家族社会福祉学会 日本特殊教育学会 韓国特殊教育学会
専門分野	障害児の教育福祉
研究テーマ	障害児教育における「合理的配慮」の意義と課題，インクルーシブ教育・保育, 子どもの権利擁護
主な教育・研究及び社会的活動及び業績	【著書】 教師になるための特別支援教育, 担当部分「第5章 人権としての特別支援教育5-3国際的動向（2）韓国」, 編者：田中良三・湯浅恭正・藤本文明, 培風館, 2020年. ひとと生まれて人間となる: 糸賀一雄研究の新展開, 担当部分「第5部 国際的な視点から第14章韓国における障害児教育・福祉保障：糸賀一雄の実践と思想に学ぶ」, 編者：渡部昭男・國本真吾・垂髪あかり, 三学出版, 2021年. 子ども・保護者に寄り添う「子ども家庭支援論」, 担当部分「第14章特別な配慮（障がい, アレルギー, 外国籍, 疾患等）を要する児童や保護者に対する支援」, 編者：青井夕貴・中典子・谷村和秀・吉田祐一郎, 晃洋書房, 2022年. 【論文】 幼稚園における知的障害児を包摂したインクルーシブ教育の実践方法：韓国『2019改訂ヌリ課程運営支援資料』から, 金仙玉・工藤 英美・山本理絵, 愛知県立大学大学院人間発達学研究科『人間発達学研究』第14pp. 91-101, 2023年. 査読有 日本の教育における「合理的配慮」政策が韓国「正当な便宜」政策に与える示唆, 洪貞淑・金仙玉, 韓国知的障害教育学会『知的障害研究』24(1) pp. 131-164, 2022年. 2022年. 査読有（韓国語） 韓国におけるインクルーシブ教育・保育の動向：『2019年ヌリ課程運営支援資料』, 金仙玉・工藤 英美・山本理絵, 愛知県立大学大学院人間発達学研究科『人間発達学研究』第13号pp. 61-72, 2022年. 査読有 保育士養成校における「施設実習」指導の在り方検討：子どもの権利条約と改正児童福祉法を通して, 愛知みずほ大学『瀬木学園紀要』第14号pp. 32-36, 2019年. 韓国におけるインクルーシブ保育の一考察：全国障害児統合保育園協議会の取り組みを通して, 金仙玉, 工藤美, 『瀬木学園紀要』第13号, pp. 38-43, 2019年. 改正児童福祉法における社会的養護の今後の課題：児童福祉と子育て家庭支援の観点から, 『瀬木学園紀要』第12号, pp. 31-38, 2018年. 「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」の改訂と今後の特別支援教育と障害児保育の課題についての試論的検討: 障害者権利条約を手掛かりにして, 『瀬木学園紀要』第12号, pp. 79-82, 2018年. 児童福祉法改正における社会的養護の現状と課題：児童福祉と家庭支援の観点から, 大阪経済法科大学アジア研究所, 『東アジア研究』第68号pp. 43-55, 2018年. 査読有 保育者のインクルーシブ保育に対する認識：保育者の意識調査の傾向より, 工藤英美・金仙玉, 愛知県立大学生涯発達研究所『生涯発達研究』第10号, pp. 95-100, 2018年. 韓国障害児保育実践マニュアルにみる最新動向, 愛知県立大学『教育福祉学部論集』第66号, pp. 19-29, 2018年. これからの障害児保育に求められる「合理的配慮」の在り方を模索する, 『瀬木学園紀要』第11号, pp. 25-36, 2017年. 障害者教育における「合理的配慮」の意義と課題: 韓国の現状と社会福祉的背景（博士論文）, 愛知県立大学大学院人間発達学研究科, 2016年. 糸賀一雄の最後の講演: 愛と共感の教育, 渡部昭男・金仙玉, 神戸大学人間発達環境学研究科『教育科学論集』第19号, pp. 17-30, 2016年. 韓国の教育現場における「正当な便宜」の運用実態の考察: 「合理的配慮」との違いに着目して, 国立社会保障・人口問題研究所『海外社会保障研究』第193号, pp. 68-75, 2016年. 査読有 韓国の障害児教育の歴史的展開とインクルーシブ教育の現状と課題, 愛知県立大学大学院人間発達学研究科『人間発達学研究』第6号, pp. 27-39, 2015年. 韓国における障害者権利条約批准後の障害者の教育権保障に関する一考察: 国家人権委員会のガイドラインと勧告の分析を通して, 総合社会福祉研究所『総合社会福祉研究』第44号, pp. 107-117, 2014年. 査読有 韓国における障害者の教育権保障に関する研究: 障害者差別禁止法教育条項を中心に（修士論文）, 愛知県立大学大学院人間発達学研究科, 2013年. ※単著論文は氏名の明記省略

【発表発表及びシンポジウム】

糸賀一雄「福祉の思想」を受け継ぐ(3) 糸賀一雄の魅力を若い世代とどう語り合うか：特別支援教育コアカリキュラム論議ともかかわって, 話題提供, 日本特殊教育学会第60回大会自主シンポジウム, 2022年.

糸賀一雄「福祉の思想」を受け継ぐ(2) 『糸賀一雄研究の新展開ひとと生まれた人間となる』を基にした重症児への眼差し, 話題提供, 第59回日本特殊教育学会自主シンポジウム, 2021年.

障害児保育運動とインクルーシブ保育, 話題提供, 第74回日本保育学会自主シンポジウム, 2021年.

インクルーシブ保育の社会変革的機能について考える：日韓の比較を通して, 企画/話題提供, 第73回日本保育学会自主シンポジウム, 2020年.

保育者養成校と実習受け入れ機関における障害のある学生の学外実習支援に関する事例検討：共通理解に根差した学外実習支援を目指して, 工藤英美・金仙玉・田中良三, 日本保育者養成教育学会第4回研究大会, 2020年.

糸賀一雄『愛と共感の教育』を通してみた韓国の教育現場における「合理的配慮」の運用実態と展望, 韓国特殊教育学会2019年春季学術大会, 2019年.

保育現場における「合理的配慮」の在り方:韓国の教育現場における「合理的配慮」の運用実態を通して, 日本保育者養成教育学会, 平成30年度全国保育士養成セミナー, 2018年.

糸賀一雄の『最後の講義：愛と共感の教育』を読み解く, 話題提供, 日本特殊教育学会第56回大会自主シンポジウム, 2018年.

韓国における障害児保育の最新動向:全国障害児統合保育園協議会の取り組みを中心に, 工藤英美・金仙玉・加藤弘美, 日本保育学会第71回大会, 2018年.

韓国における障害者の教育権保障に関する研究:障害者差別禁止法に焦点を当てて, 日本特別ニーズ教育学会第19回大会, 2013年.

※単独発表は氏名の明記省略

【社会活動】

1. 大阪経済法科大学アジア研究所客員研究員（2006年4月～現在に至る）

2. 総合社会福祉研究所会員（2007年4月～現在に至る）

※2013年以前の研究業績はresearchmap参照